

郡山本部教室 教室責任者 ごあいさつ

皆さん初めまして。郡山本部教室責任者の橋本と申します。スタディー・フィールドグループは、宮城県・新潟県・栃木県・埼玉県の 4 県に約 20 教室を展開している総合学習塾です。また、グループの名称は異なりますが、北海道でも約 60 教室を展開しております。そして、今回福島県に初教室を開校することになりました。そのため、初めて名前を聞く保護者様・生徒さんがほとんどだと思います。

郡山本部教室の教育方針は、自分の目標を諦めないです。行きたい高校や大学はあるけれど、現段階の成績では合格することが難しいと考えている生徒さんは多いのではないのでしょうか。当然、そういった生徒さんは、何も努力しなければ結果を変えることはできません。ただし、その努力をする前に他人に難しいと言われて諦めてしまっている生徒さんが非常に多いと考えています。私も、10 年以上塾で働いていますが、そういった自分に壁を作ってしまった生徒をたくさん見てきました。そんな時に私は必ず、自分の限界を、努力する前に決めることはやめなさいと言います。人に言われて決める人生と、自分の志しを達成するために努力を重ねる人生。例え、最終的にはその目標が叶わなかったとしても、その後の長く続く人生の輝きは大きく変わってくると思います。

私自身、中学生時代は勉強があまり得意ではありませんでした。部活の引退が 10 月と遅く、完全に受験勉強に乗り遅れていました。実際、自分が目標としていた高校に入るためには、中 3 の 12 月時点で偏差値が 17 ポイント足りませんでした。数字だけを見れば、不可能に近いと感じる方もいるとは思いますが、幸運なことに学校の先生や塾の先生、そして自分の親などたくさんの方が応援励ましてくれました。毎日 8 時間の猛勉強を経て、3 月に合格したときの喜びは今でも自分にとって大きな財産となっています。もちろん、皆さんも毎日それだけの勉強をできれば理想ですが、現実はまだあまりおすすめしません。私の場合は時間がわずかしかなかったのですが、皆さんには私の時の何倍もの時間が残されています。合格に必要な勉強時間が決まっているとすれば、何日間で割るかによって 1 日の勉強時間は変わってきます。ですから、早くから受験勉強を始めなさいと大人たちは子どもに催促するのです。

自分が元々勉強を得意としていなかったことも、今の自分の生徒指導に非常に大きく影響しています。誰もが平等に努力をする権利があり、誰もが平等に成績を上げるチャンスがあるということです。ですから、我々大人のものさしで、生徒の可能性を図らないように心掛けています。実際、学年 100 番台の生徒が学年 1 位になることや、偏差値 30 台の生徒が地域の TOP 校に合格し、高校での模試で全国 1 位になることなど、大人の常識をいい意味で覆してくれた場面を私はたくさん見てきました。

生徒さんにとって勉強というものの価値は、テストで点数が上がった時にしか目に見えないものですから、その価値に気づいていない人も多々見受けられます。確かに、受験生になればテストの回数は増えますが、そうでない場合は年間数回しか、または、まったくないためそれは仕方のないことだと思います。しかし、本来勉強の価値は点数を上げるためのものではなく、将来社会に出るときに、自分の興味や適性を知り選択をするための手段だと私は考えています。つまり、勉強を通して自分自身のことを自分自身で理解するということです。

もちろん、勉強がすべてかと言われれば私もそうだとは思いません。それ以外にも、学校での様々な活動や地域との関わり、各種習い事など自分のことを知る機会は様々な場面であると考えています。しかし、私が伝えたいことは、自分の将来の進路を決める際に、必ず勉強というものが必要になってくるということです。それは、英語や数学といった今現在、学習している内容だけではなく、資格を取るためやスポーツをするための専門知識など、様々な事柄がすべて勉強という言葉に集約することができます。つまり、点数をとるための勉強ではなく、何かを習得するための姿勢を身に着ける大切さを、私は生徒に伝えていきたいと考えています。そして、鉄棒の逆上がりと同じように、一度身に着けた知識や技術は半永久的に失われることはありません。

自分の子どもが勉強しなくて困っている保護者の方も多いはずです。しかし、それは子どもが不真面目なのではなく、努力の仕方がわからないだけです。本来、自分のことはどうでもいいと思っている子どもはいないはずです。言葉や態度でそうは見えることはあるかもしれませんが、子どもなりにもがいている苦しさを共感してほしい心の表れでもあります。つまり、自分の心を言葉にして相手に伝えることはとても難しいことなのです。ましてや血を分けた親子ならなおさらお互いに素直にはなりにくいものです。そういった親子の橋渡しをすることも塾の大切な仕事だと考えています。私が指導してきた生徒さんの保護者様には、成績が上がったことや勉強時間が増えたなどの喜びを伝えていただくことも多々ありますが、今まで家ではほとんどしゃべらなかったのが、自分のことを積極的に話すようになってくれたといった喜びの声もいただきます。勉強は本来自分一人で行うものですが、受験はチーム戦です。学校・ご家庭・塾が三位一体になって初めて、その力が何倍にも大きくなるのです。人生の中で数回しかない受験だからこそ、自分の目標を達成しその後の人生の大きな財産にしてほしい。そのお手伝いを少しでもさせていただければ幸いです。

【郡山本部教室 教室責任者 プロフィール】

橋本 紘樹(はしもと ひろき)

役職：福島地区 統括部長

生年月日：1981年5月26日

座右の銘：『ポケモンがおぼえられて勉強がおぼえられないわけがない』

職歴：

福島県本宮市出身。2005年某進学塾に入社後、6年間福島市で勤務。その間、福島市のグループ長として6教室を管理。2011年より宮城県でTOP校選抜クラスの部門の立ち上げに関わり、その年集団部門の責任者として10教室を管轄。2014年より山形県にてプロジェクトリーダーとして成功に導く。2016年より福島県にて福島市内6教室の管理者を経て、2017年前職を退職し同年現職に就く。指導教科は数学と社会。今までの指導人数3000人以上。笑わせてきた人数5000人以上！！勉強が楽しいと思ってもらえるように、教えるだけの指導ではなく、塾に通うのがおもしろいと言ってもらえる指導に情熱を燃やす。

